

Press Release

2021年11月25日

工具段取り時間を約 50%削減 効率的な工具段取り作業を実現「マガジン操作パネル」

DMG 森精機株式会社(以下、当社)は、工具段取り作業を簡単かつ効率的に行う「マガジン操作パネル」の販売を開始しました。

近年、複雑形状部品をワンチャッキングで加工する5軸・複合加工や、自動化システムによる長時間の連続加工を行うことで、機械稼働率を上げて生産性向上を実現されているお客様が増加しています。一方で、これらの加工方法は使用する工具本数が多くなるため、工具登録や工具交換などの工具段取り作業の回数も増加します。一般的な工具段取り作業は、作業者が工作機械の操作盤から工具番号などの工具データを登録し、工具マガジン側に移動して工具の取り付け作業を行います。そのため、使用する工具本数が増加すると、それに比例して操作盤とマガジン間の移動回数も多くなり、工具段取り作業に時間を要する要因となります。

今回開発した「マガジン操作パネル」は、工具マガジンに配置した工具マガジン専用の操作パネルです。従来のように工作機械の操作盤と工具マガジン間の移動が不要となり、マガジン操作パネルで工具データを登録後、すぐに工具マガジン内に工具の取り付け作業を行う事ができます。また、マガジンポットへの工具割り付けや登録済工具の検索・呼び出し、メンテナンスが必要な工具の抽出など、工具段取りに必要な全ての操作をタッチ式のパネルから短時間で行うことができ、従来の仕様より工具段取り時間を約 50 %*1 短縮します。

さらに、マガジン操作パネルはご使用中の当社の工作機械へも搭載可能で、既存設備の更なる生産性向上を実現したいお客様にも最適です。

当社 Web サイトに動画を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

https://www.dmgmori.co.jp/movie_library/movie/id=5943

■主な特長

- ・ 工具マガジンに配置したタッチ式の操作パネル
 - + 工具段取り作業時に工作機械の操作盤と工具マガジン間の移動は不要
- ・ 工具段取りに必要な全ての機能を搭載
 - + 取り付け済み工具の検索、呼び出し
 - + 取り付けする工具データの割り付け
- ・ 異常工具フィルタ機能により、メンテナンスが必要な工具を表示
- ・ 手袋を付けたまま操作可能
- ・ 既存設備への搭載可能*2

当社は、今後もより多くのお客様のニーズにお応えできるよう、高機能で信頼性が高く、投資価値のある商品を市場へ投入してまいります。

| 品名 | マガジン操作パネル |
|----------|--|
| 搭載可能機種*3 | ・横形マシニングセンタ NHX 4000 / 5000 3 rd Generation、NHX 5500 / 6300 2 nd Generation NHX 8000 / 10000 ・複合加工機 NTX 1000、NTX 2000 / 2500 / 3000 2 nd Generation |

*1 工具寿命の確認・設定作業を従来のマガジン操作ボタン仕様と比較した場合。

*2 搭載可能機種に限ります。仕様により搭載できない場合があります。

*3 2021年11月現在。搭載機種は順次拡大予定。仕様により搭載できない場合があります。

※DMG 森精機、DMG MORI およびマガジン操作パネルは DMG 森精機の登録商標または商標です。



マガジン操作パネル



操作風景

以上